小児外科手術症例の5年間（2000年～2004年）の臨床統計

淺部　浩史　　岡　陽一郎　　吉武　裕明
野田　尚孝　　乗富　智明　　山下　裕一
白日　高歩

福岡大学医学部外科学第2講座

要約：福岡大学医学部外科学第2講座小児外科グループにおいて2000年より2004年までの5年間に581人に対して703例の手術を施行した．幼児期（1歳～6歳）199人，乳児期（1ケ月～12ケ月）129人，学童期（7歳～12歳）114人，新生児期（0生日～30生日）65人，生徒期（13歳～15歳）55人，成人（16歳以上）19人であり，男女比は約10：9と男性がやや多い傾向にあった．緊急手術は216人（37.2%）に対して施行され，新生児期の81.5%が緊急手術であった．手術術式は鼠径ヘルニア根治術が最も多く，次いで虫垂切除術であった．

索引用語：小児外科手術，臨床統計，小児外科疾患